

2019年度における国土交通省による ASEANのコールドチェーン物流促進に関する取組

国土交通省 総合政策局
参事官（国際物流）室
令和元年8月2日

「ASEANスマートコールドチェーン構想」におけるビジョン及び戦略

- ASEANにおけるコールドチェーン物流需要を我が国物流事業者及び物流機器メーカー等が確実に捉えることができる環境を醸成し、我が国の物流システム、規格・基準及び技術を有機的に活用した、高品質で環境に優しいコールドチェーン（スマートコールドチェーン）を実現する。
- スマートコールドチェーンを実現するため、ビジョン及び戦略に基づき、国土交通省・農林水産省・経済産業省・環境省の関係省庁及びJICA・JETRO・DBJ・JBIC・JOINの関係機関が連携して取り組む。
- 今後5カ年（2019～2023年度）において、特にコールドチェーン物流の需要拡大が見込まれるインドネシア、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシアの5カ国で日本式コールドチェーン物流の展開支援を実施する。

ビジョン及び戦略

ビジョン1



◆コールドチェーン物流を必要とする高付加価値な貨物需要の創出を促す。

戦略

1	一般消費者に対する意識啓発の促進 ➢ 食品の安全確保について消費者に対する普及啓発活動等及び日本食・食文化の普及等に取り組む。
2	ハラル物流の需要に対応するための環境整備 ➢ ハラル食品やハラル認証制度等に関する情報を取得できる会合等を開催し、ハラル貨物への理解を深める機会を増やす。

ビジョン2



◆コールドチェーン市場において、我が国事業者の優位性を確立するための基盤整備を促進する。

戦略

1	コールドチェーン物流サービス規格等の導入	4	ハードインフラの整備を促進
2	食品衛生管理等に関する国際認証制度の普及	5	現地物流事業者及び政府職員の能力アップを図る
3	ビジネス展開の障害となる制度面等の改善		

ビジョン3



◆我が国事業者の新たなコールドチェーンビジネスの創出を支援する。

戦略

1	ビジネスマッチングの機会創出 ➢ 我が国事業者が現地荷主企業及び物流事業者等との商談会等の開催を通じて、ビジネスマッチングの機会を創出する。
2	コールドチェーンビジネスの開発のためのモデル事業実施を支援 ➢ 新規流通事業の開発を両国との関係省庁・機関が連携し、新たなコールドチェーンビジネスとなるモデル事業を支援する。

ビジョン4



◆新技術等を活用したコールドチェーン物流の構築を支援する。

戦略

1	新技術等を活用した物流関連機器の導入を促進 ➢ IoTやAI等の新技術の活用によるコールドチェーンマネジメントの効率化等に資する物流関連機器の導入を促進する。
2	環境性能の高い物流関連機器の導入に向けた環境整備 ➢ 補助金制度等の環境負荷の軽減に資する物流関連機器購入の推進施策の導入をASEAN各国政府へ推奨する。

ビジョン及び戦略に基づいた2019年取り組み

ビジョン1



戦略1:意識啓発の促進

ビジョン2



戦略2:規格等の普及

ビジョン3



戦略1:ビジネスマッチング

ビジョン4



戦略1:物流関連機器の導入
戦略2:環境性能の高い物流関連機器
の導入に向けた環境整備

◆ タイにおける物流政策対話及びワークショップ

ビジョン2



戦略2:規格等の普及
戦略5:現地物流事業者及び政府職員の能力アップを図る

- ◆ コールドチェーン物流サービスの国際標準化の推進
- ◆ インドネシアにおけるコールドチェーン物流サービスの国際標準化普及セミナー
- ◆ 第15回日ASEAN物流専門家会合
- ◆ ベトナム及びラオスにおける物流人材育成支援事業
- ◆ JICAアジア物流研修

ビジョン3



戦略1:ビジネスマッチング
戦略2:コールドチェーンビジネスの開発のためのモデル事業実施を支援

- ◆ 日本能率協会主催 コールドチェーン輸出フォーラムの開催概要
- ◆ FOOD EX JAPAN2020 / FOOD EX TECH開催のご案内
- ◆ 2019年度コールドチェーン物流サービスの展開に関するパイロット事業

タイにおける物流政策対話及びコールドチェーンワークショップの開催

- ビジョン1 戦略1:一般消費者に対する意識啓発の促進
- ビジョン2 戦略2:コールドチェーン物流サービス規格等の普及

- ビジョン3 戦略1:ビジネスマッチングの機会創出
- ビジョン4 戦略1:物流関連機器の導入
戦略2:環境性能の高い物流関連機器の導入に向けた環境整備

- 物流政策対話を通じて、タイにおいてビジネス展開の障害となる**制度面等の改善要求**
- **農林水産省と連携し**、タイの消費者庁や関連団体等へコールドチェーン物流による**食品の安全確保について意識啓発を促進。**
- **経済産業省と連携し**、現地物流事業者及び荷主企業へ**コールドチェーン物流サービス規格を普及。**
- **環境省と連携し**、現地物流事業者及び荷主企業へ**環境性能の高い物流関連機器の導入に向けた支援策を紹介。**
- 我が国物流機器メーカー等のビジネスマッチング機会を創出するため、**物流関連機器等を紹介する機会を提供し、商談会ブースを設置。**

Day 1 物流政策対話

日程	2019年10月2日（水）
会場	タイ運輸省
出席者（仮）	■日本:国土交通省、物流関連団体、専門家 ■タイ:運輸省、その他



議事次第（案）

1	両国の物流政策	✓ トラックドライバー不足への対応 ✓ 越境物流における物流の効率化
2	制度面等の改善	✓ タイの物流課題について改善要求
3	コールドチェーン物流促進に関する政策	✓ コールドチェーン物流の標準化の推進 ✓ Q Cold Chainの紹介 等
4	グリーン物流促進に関する政策	✓ 両国のグリーン物流促進活動の紹介

Day 2 コールドチェーンワークショップ

日程	2019年10月3日（木）
会場	バンコク市内のホテル
出席者（仮）	■日本:国土交通省、経済産業省、農林水産省、環境省、JICA、JETRO、物流関連団体、物流関連事業者、認証機関 等 ■タイ: 運輸省、関連省庁、産業団体、物流関連事業者、荷主事業者、認証機関 等



議事次第（案）

1	コールドチェーン物流の重要性	✓ 食の安全確保に関する取組 ✓ 物流業務における衛生管理
2	コールドチェーン物流の国際標準化	✓ 小口保冷輸送のISO化 ✓ Q Cold Chainの紹介 等
3	コールドチェーン物流関連機器の促進	✓ 保冷BOXの紹介 ✓ 自動冷蔵冷凍の紹介 等



我が国物流関連事業者の新たなビジネスチャンスを創出するため、**商談会ブースを会場内に設置**

コールドチェーン物流サービスの国際標準化の推進

ビジョン2 戦略2:コールドチェーン物流サービス規格等の普及

- 我が国コールドチェーン物流サービスを国際標準化し、適切な品質サービスを中心とした健全な市場を構築し、品質の可視化による我が国物流サービスの競争促進により、我が国食品の輸出拡大や流通業等の海外展開を促進する。
- 平成29年2月、英国規格協会（BSI）より、世界初の小口保冷輸送サービス規格（PAS1018）発行。平成29年11月、日本規格協会（JSA）より同規格（JSA-S1018）を発行。2020年内のISO化にむけ、ISO委員会にて議論中。
- 日ASEAN交通連携のもと、平成30年11月の第16回日ASEAN交通大臣会合で承認された日ASEANコールドチェーン物流ガイドラインをベースとし、JSAにおいてコールドチェーン物流サービス規格（JSA-S1004）を策定する。
- 現在、両規格とも政府間対話等のスキームを活用し、東アジア・ASEANを中心とした諸外国への規格普及に取り組んでいる。

コールドチェーン物流サービスの国際規格化の意義

アジア諸国の粗悪なコールドチェーン物流サービス

- 長時間日光に曝されている
- 過剰な量の保冷ボックスを運ぶ

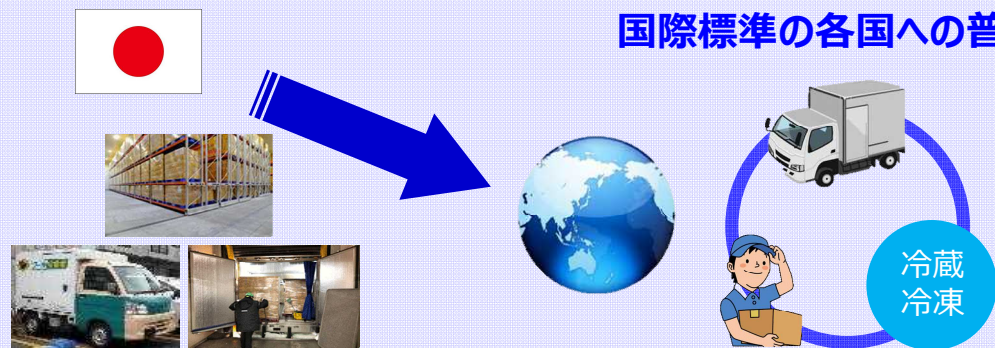


- コールドチェーンが安定した社会インフラにならない
- 日系物流事業者の高品質なコールドチェーン物流の訴求力が弱くなる



日本型コールドチェーン物流サービスの国際標準化

国際標準の各国への普及



国交省の取組

ISO化

小口保冷輸送サービス (BtoC)



PAS1018



JSA-S1018

2019年
11月

第3回ISO/PC315
審議委員会で最終
審議予定。

2020年

ISO23412策定を目
指す。

JSA-S化

コールドチェーン物流サービス (BtoB)



JSA-S1004

(現在策定中)

日ASEANコールドチェーンガイドラインを基に、JSA規格を策定予定。

学識経験者、物流事業者等から構成されるJSA内の検討委員会で議論・策定される。

発行後

政府間対話等のスキームを活用し、日系物流事業者及び、ASEAN等の現地物流事業者への規格普及に取り組む。

インドネシアにおけるコールドチェーン物流サービスの国際標準化普及セミナー

ビジョン2 戦略2:コールドチェーン物流サービス規格等の普及

- インドネシア認証機関（BSN）とインドネシアコールドチェーン協会が、小口保冷輸送サービス ISO23412の普及セミナーを開催。
- 国土交通省より[日ASEANコールドチェーンガイドライン](#)を活用し、コールドチェーン物流サービスに求められる必要最低限の作業手順を紹介。

開催日程及び会場

- **2019年11月14日 13:00 - 17:00** @ Jakarta International Expo
(Seafood Show アジア が同会場にて、11月13日から16日の期間で開催予定)

出席者（予定）

- 日本： 学識経験者、国土交通省、ヤマトHD、日本海事協会、日本規格協会 等
- インドネシア： コールドチェーン協会、認証機関（BSN） 等
- その他： フランス、中国のISOワーキングメンバー、高雄第一科技大学、ASEAN各国政府、現地物流事業者、製造業者・水産業者 等

議事次第（案）

1	インドネシアにおける規格認証審査の手順紹介	インドネシア認証機関（BSN）	6	欧州におけるコールドチェーン物流サービスの現状	ISOワーキングメンバー フランス
2	先進的なコールドチェーン物流システム	敬愛大学/根本教授	7	ISO23412の概要	日本規格協会（JSA）
3	日ASEANコールドチェーンガイドラインの紹介	国土交通省	8	ISO23412の基準に沿ったサービスの紹介	ヤマトHD
4	インドネシアにおけるコールドチェーン物流サービスの現状	インドネシアコールドチェーン協会	9	台湾におけるISO23412取得に向けたトレーニングコースの紹介	高雄第一科技大学
5	中国におけるコールドチェーン物流サービスの現状	ISOワーキングメンバー 中国	10	ISO23412の認証手順	日本海事協会

2018年6月5日に東京で開催された第1回普及セミナー



第15回日ASEAN物流専門家会合の開催

ビジョン2 戦略2:コールドチェーン物流サービス規格等の普及

- ASEANにおけるコールドチェーン物流サービスの質の向上を図るため、国土交通省より今後「日ASEANコールドチェーン物流ガイドライン」を基としたコールドチェーン物流サービス規格（JSA-S）の策定を行うことについて発表。
- ASEANにおける小口保冷輸送サービスに関する規格普及に向けて、現在策定している本サービスのISO化に関するスケジュールについて共有。
- ASEAN各国の物流担当に対する規格化について理解促進を図るため、日本海事協会（Class NK）より物流サービスの規格化の必要性及び規格認証がもたらす効果等について発表。

開催日程

- 2019年7月10日

開催場所

- マレーシア・クアラルンプール

出席者

- 合計30名



日本	ASEAN各国
国土交通省総合政策局 参事官（国際物流）室	各国政府の物流担当
在マレーシア日本大使館書記官	ベトナム海事大学
学識経験者	ASEAN事務局 等
日本ロジスティクスシステム協会 （JILS）	※ブルネイとシンガポールについては 都合により欠席
日本海事協会（Class NK）	

#	議事次第	発表者
1	「日ASEANコールドチェーン物流プロジェクト」の取組報告	国土交通省
2	コールドチェーン物流サービス規格（JSA-S）の策定	国土交通省
3	保冷輸送に関する国家規格基準（Q Cold Chain）の策定	タイ陸運局
4	小口保冷輸送サービスのISO化に関するスケジュール共有	国土交通省
5	物流サービスの規格化の必要性及びもたらす効果	日本海事協会
6	マレーシア GLP会議開催の振り返り	マレーシア運輸省
7	今後のASEANにおけるグリーン物流パートナーシップ会議の開催について議論	ASEAN各国
8	日メコン物流訓練センターの活用方法について進捗報告	ベトナム海事大学



ベトナム及びラオスにおける物流人材育成支援事業

ビジョン2 戦略5: 現地物流事業者及び政府職員の能力アップを図る

- ASEAN地域では、経済発展に伴い物流需要が拡大する中、物流分野における人材の育成・確保が課題。
- 進出している日系物流事業者の経営においても、ASEAN地域における優秀な現地人材の確保が課題。
- ベトナム・ラオスにおける物流人材育成を支援するため、**SGH財団との協業**でコールドチェーン物流を含む物流全般に関する講義を毎年実施。



ベトナム

□ 平成26年度からホーチミン交通大学にて開講

実施時期：2019年7月15日～ 7月26日 10日間

実施対象：物流学専攻の大学3年生 161名受講

講義内容：

【講義】

- ① 物流概論 （日本の3PL、**コールドチェーン** 等）
- ② 物流ハレーション（顧客・人員管理、5S、業務改善 等）
- ③ 講義内容に基づくプレゼンテーション

【物流施設見学】

佐川ベトナムコンチャック倉庫
いすゞベトナムの現場視察



ラオス

□ 平成28年度からラオス国立大学及び公共事業運輸訓練センターにて開講

実施時期：①2019年5月16日～5月17日 2日間

②2019年5月20日～5月24日 5日間

実施対象：①ラオス公共事業運輸省・業界団体・
民間物流事業者の実務者 31名受講
②ラオス国立大学工学部にて物流を専攻する
4年生 48名受講

講義内容：

【講義】

- ① 物流概論 （日本の物流政策、**コールドチェーン** 等）
- ② 物流ハレーション（人員・顧客管理、5S、業務改善 等）
- ③ 講義内容に基づくプレゼンテーション（大学のみ）



ビジョン2 戦略5: 現地物流事業者及び政府職員的能力アップを図る

- 近年急速な経済発展を遂げているアジアにおいて、経済成長と持続可能な社会の両立に向けて、**ASEAN各国政府に対して、各国における物流システムの信頼性の向上のためのアクションをとることを支援又は促す**ことを目的とする。
- 内容として、我が国のコールドチェーン物流システムの現状に関する講義、様々な物流サービスや施設の現場視察を実施し、**自国での物流環境に関する議論**を実施する。
- 研修員が本コースを通じ、**自国における物流システムの課題を特定し、その改善に向けた物流政策を提示**する。

研修期間

- ✓ 2019年5月12日～6月8日（約3週間）

対象組織・人材

- ✓ 対象組織
➡ 物流行政に関わるASEAN各国の省庁
- ✓ 対象人材
➡ 政府あるいは公的機関で物流に携わる事務官で、アクションプランを提案できる権限を有する者
- ✓ 職務経験
➡ 物流政策分野で3年以上の経験を有する者

研修参加国

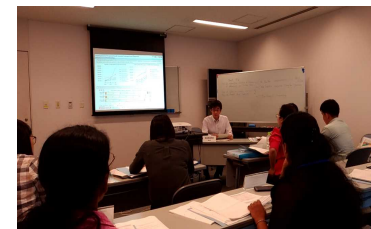
- ✓ カンボジア、ラオス、ベトナム、バングラディシュより計6名



研修内容（抜粋）

国土交通省

- 日本の物流大綱を中心とした物流行政
- ASEANコールドチェーン物流プロジェクト



株式会社ニチレイロジグループ

- 日本のコールドチェーン物流の紹介
- 冷蔵倉庫における保管・荷役作業の見学



ASEAN各国政府の研修生

- 自国の物流政策の作成及び発表



日本能率協会主催 コールドチェーン輸出フォーラムの開催概要

ビジョン3 戦略1:ビジネスマッチングの機会創出

- FOODEX JAPAN2020を主催する日本能率協会により、コールドチェーンサービスの輸出へ関心のある物流事業者及び食品メーカーを対象とした「コールドチェーン輸出フォーラム」を開催。
- 国土交通省より、ASEANスマートコールドチェーン構想に基づく、我が国のコールドチェーン物流サービス促進に係る施策を紹介。
- 物流事業者及び物流機器メーカーより、ASEANにおけるコールドチェーン物流促進の展望及び取組事例について紹介。

コールドチェーン輸出フォーラム 開催結果

開催日程	2019年7月31日（水） 14:00 - 16:00
開催会場	AP浜松町 会議室N
プログラム	①国土交通省 国際物流室：ASEANにおけるコールドチェーン物流展開支援 ②株式会社ダイフク：海外現地企業の冷蔵・冷凍自動倉庫の納入事例 ③郵船ロジスティクス株式会社：日本食輸出に伴う海外コールドチェーン展開事例と展望 ④日本能率協会：FOODEX TECHにおける海外食品メーカーとのマッチング概要説明
来場者数	120名の定員に対し、73名来場
主な来場者	①農林水産省 食料産業局 輸出促進課 ②物流事業者 日本通運、西濃シエンカー、ヤマトホールディング 等 ③物流機器メーカー 前川製作所、日本フルハーフ、 等 ③食品メーカー 森永乳業株式会社、ハウス食品グループ本社株式会社、東洋水産 等 ④製造メーカー 大日本印刷、パナソニック、三井化学、積水化成品工業 等



FOODEX JAPAN2020 / FOODEX TECH開催のご案内

ビジョン3 戦略1:ビジネスマッチングの機会創出

- 我が国物流事業者及び物流機器メーカーの新たなコールドチェーンビジネスの創出を支援するため、日本能率協会主催のFOODEX JAPAN2020と連携。
- コールドチェーン物流に関連する我が国物流事業者及び物流機器メーカーが、国内外の荷主及びバイヤー等とビジネスマッチングを図るため、国土交通省、農林水産省及びJETROの後援のもと、新たにFOODEX TECHブースを設置。



FOODEX JAPAN開催概要

開催日程	2020年3月10日（火）～13日（金）
開催会場	幕張メッセ 全館
予定来場者数	約85,000名 【うち海外来場者数 約11,000名（2019年）】
主な来場者	商社・卸、メーカー、物流/運輸、小売
予定展示規模	3,500社/4,100ブース

FOODEX TECH出展対象

コールドチェーン 物流	● コールドチェーン物流サービス 【冷蔵冷凍保管、クール宅配サービス、冷蔵冷凍輸送等】
	● コールドチェーン物流関連機器 【冷凍自動倉庫、保冷コンテナ・ボックス、冷媒装置等】
出展場所	ASEAN各国の商社・卸等による食品・飲料出展 ゾーンに隣接し、ビジネスマッチング機会を狙う
通常申込期限	2019年10月11日（金）

2019年度コールドチェーン物流サービスの展開に関するパイロット事業

ビジョン3 戦略2:コールドチェーンビジネスの開発のためのモデル事業実施を支援

募集企画の概要

- ASEANにおいて、収穫される農水産物を**流通加工等で付加価値と付ける**と共に、我が国の高品質なコールドチェーン物流サービスにより大都市のレストランやホテルまで**冷凍・冷蔵輸送、保管等を行う**実証実験を通して、我が国物流事業者の新たなビジネス参入に繋げる。

実施時期

- 2019年9月頃より実施開始

検証事項

- 現地農水産品のマーケット需要
- コールドチェーン物流サービスを実施する際の関連する法規制等の障害
- コールドチェーン物流サービスを実施する際の物流インフラ等の問題点
- 実証実験エリア及び経路における輸送コスト、リードタイム、温度変化の有無等技術的な問題点
- 我が国コールドチェーン物流サービスの普及・促進方策

費用負担

- 実証事業に要する費用について、14百万円を上限とし、その一部又は全部を国費で支出



END